

平成30年度学校自己評価システムシート (県立越生高等学校)

目指す学校像	生徒一人一人の長所を伸ばし、社会で活躍できる「人財」の育成を目指す学校
--------	-------------------------------------

重点目標	1 少人数授業(指導)を活用して「わかる授業」を創造し、学習意欲を高め、基礎学力・専門的な能力を定着・向上させて、生きる力を育む。 2 豊かな心と自主的・自律的な態度を育み、普通科及び美術科のそれぞれの特色を生かして自己の在り方生き方を考えさせ、夢を実現するための、生きる力を育む。 3 生徒、保護者、地域、教職員の信頼関係を深め、高い意欲を持った入学志願者の確保にもつながる開かれた学校づくりに努める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	3名

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)	
年度目標					年度評価(2月1日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】 ・基礎学力の定着に向けて、生徒は、勉強は必要だと感じているが、家庭学習が定着していない。 【課題】 ・「わかる授業」の更なる発展に向けた取り組みとともに、生徒に資格試験などの取り組みを勧め、意識の向上を図り、学習意欲を高めていく必要がある。	○学びの質の向上 ○学習環境の更なる整備と基本的な学習習慣の定着	①生徒の実態に合わせた授業の展開と定期考査間の補習や課題の与え方を工夫する。 ②授業公開や情報交換会を改善する。 ③進路を意識させた資格取得を奨励する。	①成績不振者の減少、成績優良者の増加が見られたか。 ②情報交換会を実施し、授業改善に活かされたか。 ③各検定での受験者数と合格者は増加したか。	●学びの質の向上に向けた取組 ①考査前のきめ細かい補習により、成績不振者は減少、成績優良者は増加傾向である。 ②情報交換会では指導方法や基準など確認し、授業改善の一助となった。 ③各検定での受験者数は増加傾向で、特に情報処理検定では国家試験の合格者も出ている。	B
2	【現状】 ・研修会等の実施により、保護者・教職員の進路に対する意識が高められてきている中で、進路への意識が低い生徒もいる。個々の生徒に対応した進路指導、学習指導、生徒指導が求められている。 【課題】 ・進路指導、学習指導、生徒指導の一体を図り、より充実した指導を進める必要がある。	○学校全体で組織的に行う生徒指導の充実と部活動の活性化 ○進路に対する意識向上を図り、進路実現	①基本的生活習慣の確立を促し、保護者との連絡を密にしながら欠席数の減少に努める。 ②集会等で生徒全体に呼びかけ、問題行動を未然に防ぐ。 ③部活動加入率を高くし、活動を活性化させる。 ④配慮を要する生徒の指導体制を更に整える。	①欠席者数、遅刻者数、早退者数は減少したか。 ②トラブルや問題行動は減ったか。 ③部活動に積極的に参加する生徒の増加と、各種大会での活躍が増えたか。 ④不安、問題を抱える生徒を把握し、適切な支援、指導ができたか。	●組織的な生徒指導の取組 ①欠席・遅刻・早退10回以上のものは、昨年度より10%程度減少した。 ②昨年度より問題行動が3件増えた。ネットトラブルや対人関係でのトラブルが多かった。 ③部活動の加入率は昨年度の68.2%から72.7%へ増加した。 ④必要に応じて教育相談推進委員会と連携し、SCにつながる事ができた。	A
3	【現状】 ・一斉配信メールやHPなどの活用により、学校と保護者・地域との連携を進めている。 【課題】 「開かれた学校づくり」を更に推進し、学校教育全般に対して、保護者・地域の理解を深めていく必要がある。	○保護者・地域との連携強化 ○生徒募集の強化	①HP等の広報を充実させる。 ②PTA活動の周知と行事への呼びかけにメール配信システムを活用する。 ③50周年行事に向けて内容を検討し計画を作成する。	①保護者、地域へ教育活動の情報を発信し、本校の理解を進められたか。 ②メール配信システムの有効な活用ができたか。 ③周年行事実施に向けて内容を明確にして、計画を作成できたか。	●保護者・地域との連携の充実 ①保護者・地域の方の行事への来校が多く、特に文化祭では生徒との積極的なふれあいがあった。 ②PTA活動の通知とともにメール配信、HPのアップを徹底できた。 ③周年行事に向け、来年度に実行委員会の立ち上げを行う方針で調整を行った。	A
			①学校説明会の内容を見直しと、文化祭での生徒募集活動を計画する。 ②中学校訪問の内容を改善する。 ③在校生の母校訪問を新規に企画する。	①学校説明会への参加者数、リピーター数と文化祭に来校する中学生が増えたか。 ②より効果的な中学校訪問の内容の改善ができたか。 ③本校生徒の成長を中学校教職員に伝える事で生徒募集に貢献できたか。	●内容を工夫した説明会の実施 ①学校説明会へのリピーター数は変化なく参加者数は微減であり、文化祭に来校した中学生は微増であった。 ②中学校出身者数の推移と在学生の近況についての資料を用意して中学校訪問を実施した。 ③在校生の母校訪問を実施できた。	B

学校関係者評価
実施日 平成31年2月5日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・先生方は熱心に工夫をして授業をしていると思います。また、少人数授業は効果的であると思いますので、是非今後も継続して欲しい。 ・個々に興味のあることをいかに引き出してもらえるかが大切だと思います。個々に、興味があることを調べて発表ができるような授業が可能であれば取り組んで欲しい。 ・生徒アンケートによると、「わかりやすい授業」が行われていると言う質問に対して、20%程度の生徒が、分かりやすいと答えていません。個に応じた指導をさらに深めて欲しい。 ・3年間の高校生活の中で、生徒の表情が明るくなってきている。挨拶も人の顔を見て、自分からしっかり出来るようになっていきます。おはようキャンペーンの反応も年々良くなっています。 ・少人数でも頑張っている運動部があります。部活動の活性化について、今後期待したい。 ・JSTの活用で一人一人の良いところを引き出しながら、自己肯定感を高めていただけて助かっています。今後も、引き続き生徒の進路実現に向けて継続的な指導をお願いしたい。 ・面接指導では、指導が大変だと感じています。丁寧な指導をして頂き有り難いです。今後もよろしく願います。 ・地域の環境美化に努めて頂き有難いです。生徒会等が中心となって、生徒に呼び掛けて、これからも校内・校外ともに美化運動に取り組んで欲しいと思います。 ・中学生は学校を選ぶときに、HPの閲覧を活用されています。そのためにも、全体的に見て発信を強化して欲しい。また、美術科があるので、HPにも美術科の色を出して欲しい。 ・卒業生の中学訪問は他校でも多く実施しています。他の方法も検討して欲しいと思います。 ・越辺川の灯籠流しのポスターなど協力していただき助かりました。このような取り組みはPRとしてとても有効だと思います。他の行事にも協力して欲しい。